

---

## — 第1部 —

- 1 市役所周辺まちづくり基本構想とは
- 2 アンケート調査の概要と経過共有

## — 第2部 —

- 3 ワークショップ結果の共有
- 4 会場全体での意見交換

# 一緒にまちの未来を考え、実行する仲間になってほしいです



## — 第1部 —

- 1 市役所周辺まちづくり基本構想とは
- 2 アンケート調査の概要と経過共有

## — 第2部 —

- 3 ワークショップ結果の共有
- 4 会場全体での意見交換

1) 市役所周辺まちづくり基本構想とは

## 基本構想では次の内容をまとめていきます

長期的に本地域をどのような“まち”にするのか  
具体的な方向性を定めるものです。

<基本構想に描かれる要素>

本地域の現状と課題

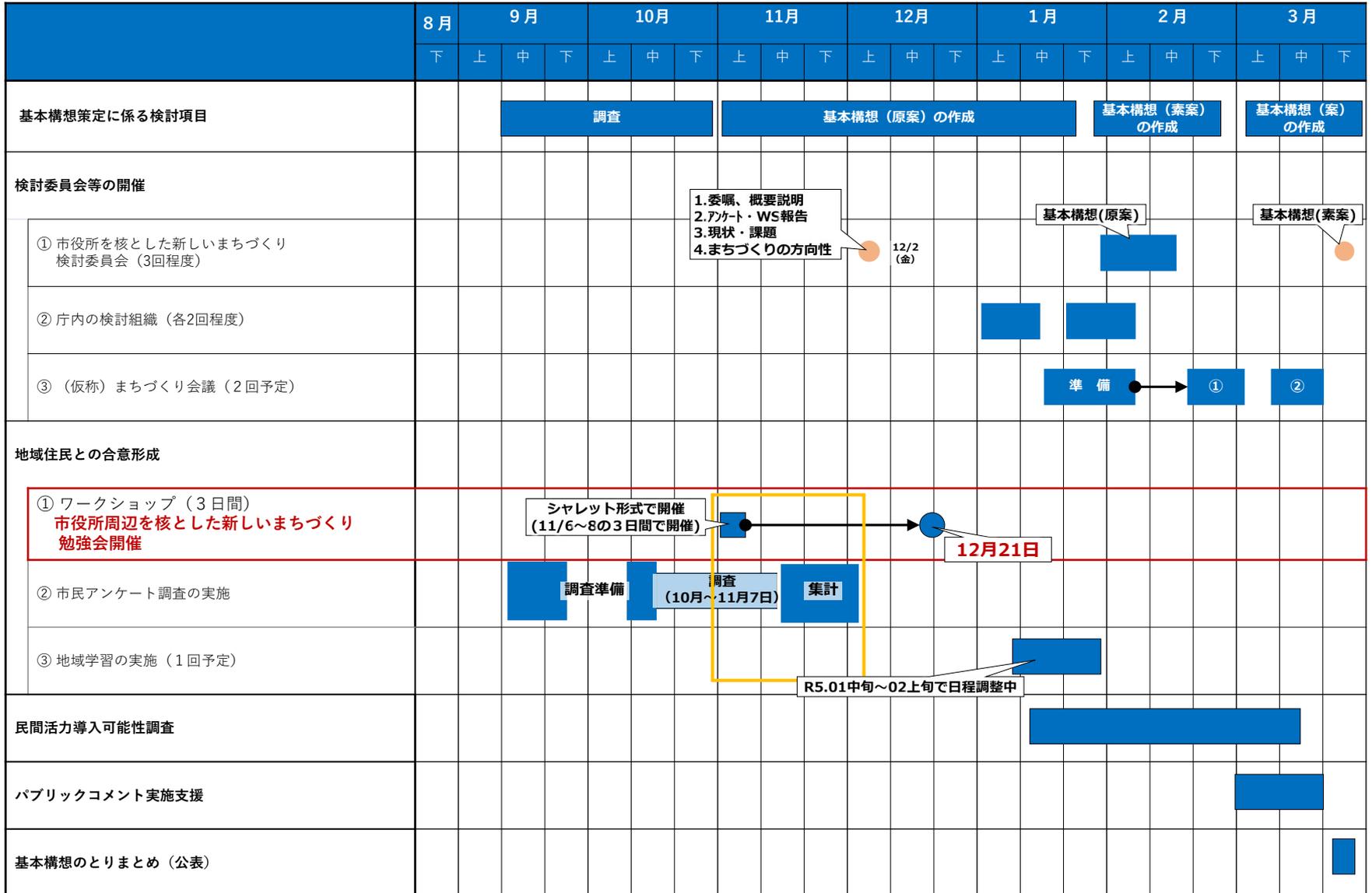
↓

まちづくりの方向性

- ① コンセプト
- ② 目標
- ③ 基本方針
- ④ 具体的な取り組み

# 1) 市役所周辺まちづくり基本構想とは

## 本事業は次の体制とスケジュールで進めていきます



1) 市役所周辺まちづくり基本構想とは

# 上位計画に即して基本構想をつくっていきます

計画期間：10年間  
本市島づくり全体の指針

宮古島市  
総合計画

宮古都市計画  
「都市計画区域の整備、  
開発及び保全の方針」

即する

即する

「都市計画」に関する  
基本的な方針を定める

宮古島市都市計画マスタープラン

即する

本事業ではこちらの  
素案を作成していく

市役所周辺まちづくり基本構想（素案）

# 1) 市役所周辺まちづくり基本構想とは

## 基本構想の上位にある都市マスの内容に即する必要があります

計画期間：10年間  
本市島づくり全体の指針

宮古島市  
総合計画

宮古都市計画  
「都市計画区域の整備、  
開発及び保全の方針」

即する

即する

「都市計画」に関する  
基本的な方針を定める

宮古島市都市計画マスタープラン

即する

本事業ではこちらの  
素案を作成していく

市役所周辺まちづくり基本構想（素案）

1) 市役所周辺まちづくり基本構想とは

## 都市マス上で「市民交流エリア」と位置付けられています



1) 市役所周辺まちづくり基本構想とは

## 市役所を含む公共施設があるので市民交流エリアとなっています

本地域の最大の特徴

- ①市役所がある
- ②公共施設（消防本部・宮古合同庁舎など）が集積している



特徴を踏まえた仮説

つまり、宮古島市民がこの地域に訪れる。

足を運ぶ“ついで”にこの地域で市民交流が生まれたら

市に良い波及効果をもたらすのではないか？

1) 市役所周辺まちづくり基本構想とは

**都市マスの「重点推進プロジェクト」に位置付けられています**

### 【重点推進プロジェクト】

- 市役所を核とした新しいまちづくりの推進
- 伊良部地域のまちづくりの推進
- 用途地域の拡大による計画的な土地利用の誘導
- 景観計画に基づく美ぎ島・宮古の魅力向上

## 1) 市役所周辺まちづくり基本構想とは

# 本地域では、次の3つを達成しながらまちづくりを進めます

【重点推進プロジェクト】

### ● 市役所を核とした新しいまちづくりの推進 をするために

達成すること

市民サービス施設の  
集積をする

利便性の高い快適な  
住環境を創出する

市民交流拠点の形成  
を図る

## 達成に向けて、まず取り組むことは次の通りです

達成すること

市民サービス施設の  
集積をする

利便性の高い快適な  
住環境を創出する

市民交流拠点の形成  
を図る

取り組むこと

・ 公共サービスをさらに充実させていく

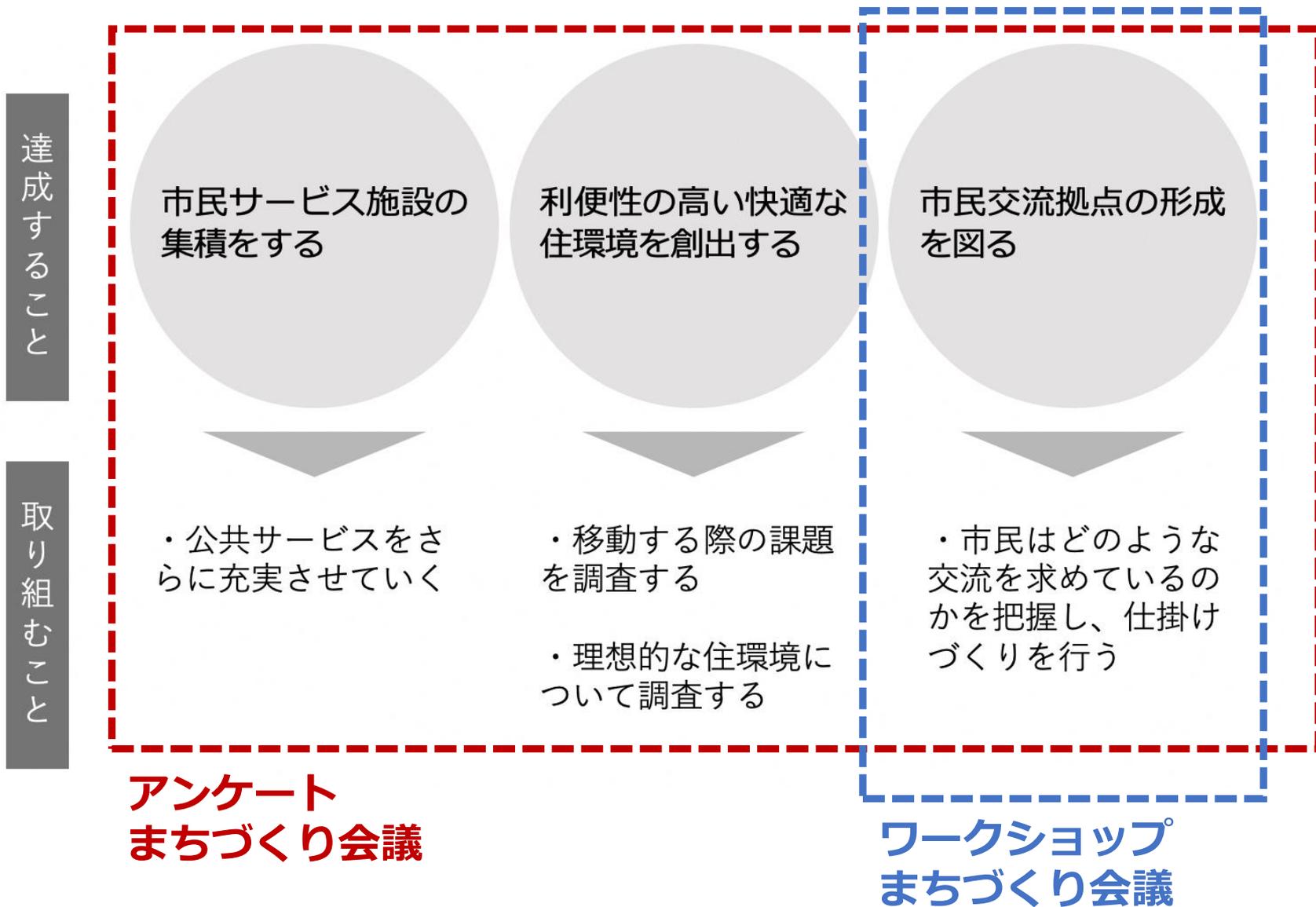
・ 移動する際の課題を調査する

・ 理想的な住環境について調査する

・ 市民はどのような交流を求めているのかを把握し、仕掛けづくりを行う

# 1) 市役所周辺まちづくり基本構想とは

## 本事業では“市民の声”を次の方法で取り入れていきます



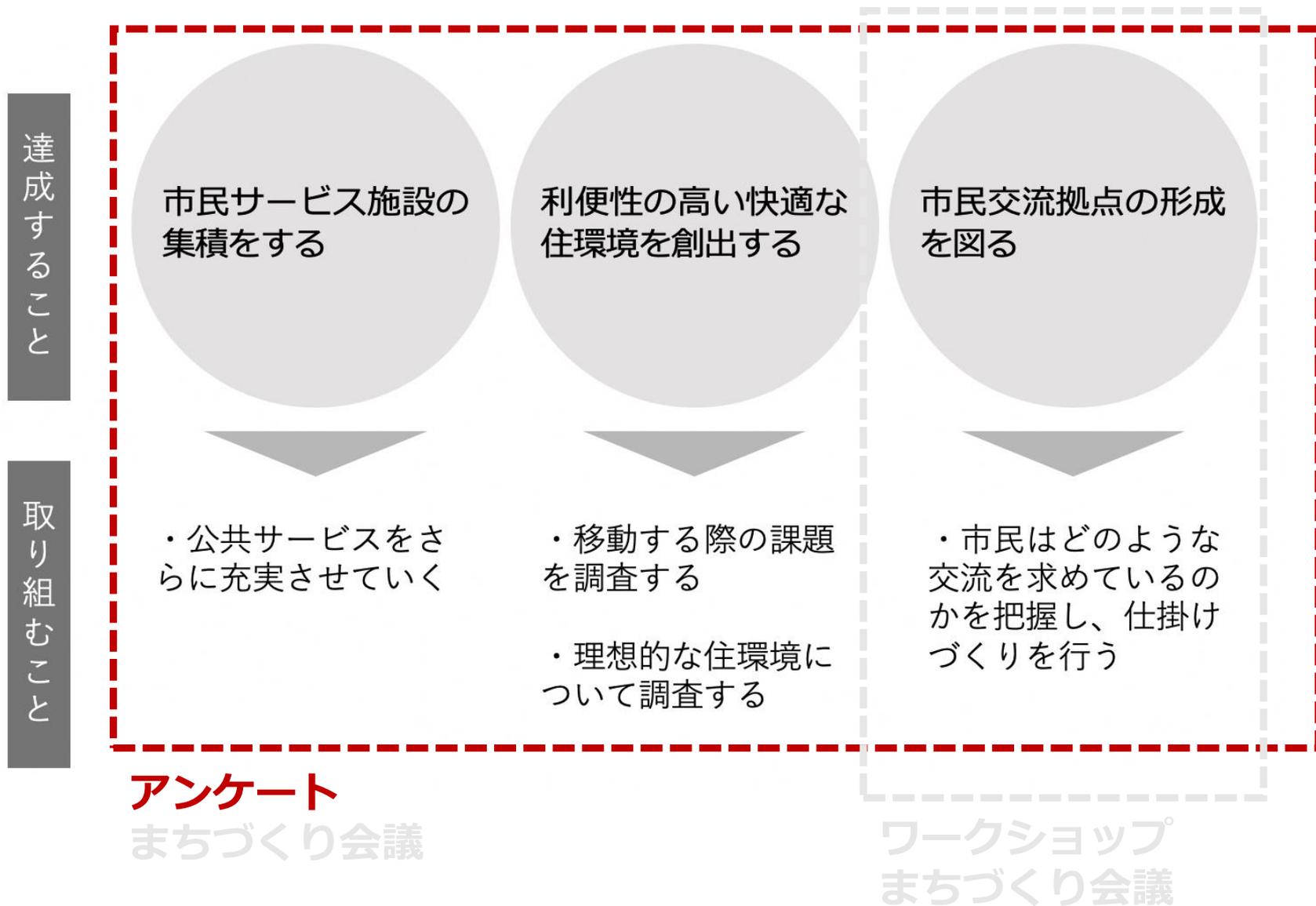
## — 第1部 —

- 1 市役所周辺まちづくり基本構想とは
- 2 アンケート調査の概要と経過共有

## — 第2部 —

- 3 ワークショップ結果の共有
- 4 会場全体での意見交換

## まずはアンケート結果の途中経過を共有します





# 3. 市民の意向

## 3 アンケート調査の結果概要

### 【実施概要】

#### (1) 目的

- ・ 「市役所周辺地区の現状や将来のあり方」について、市民意向を把握し、今後のまちづくりを進めるための基礎資料として活用する。

#### (2) 実施期間

- ・ 2022年10月24日（発送）～2020年11月7日（消印有効）

#### (3) 対象者

- ・ 郵送：宮古島市に住む住民（18歳以上）から無作為に抽出した2,000名
- ・ Web：全市民

#### (4) 配布・回収状況（2022年11月22日時点）

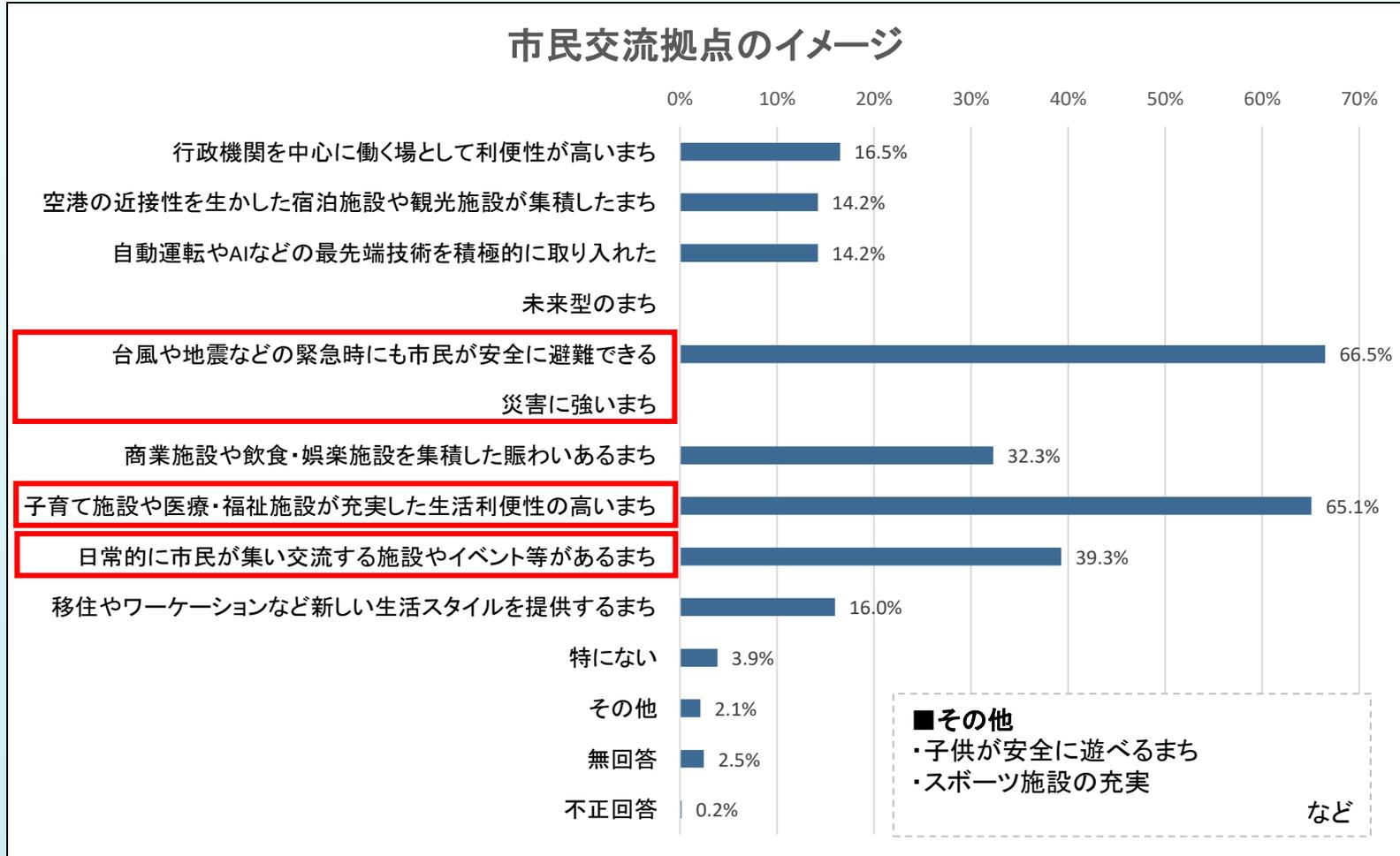
- ・ 配布数… 2,000票（+市のホームページにおいてWEB用のURLを公開）
- ・ 回収数… 570票（Web :119、紙:451）
- ・ 回収率… 28.5%



# 3. 市民の意向

## 【結果概要】

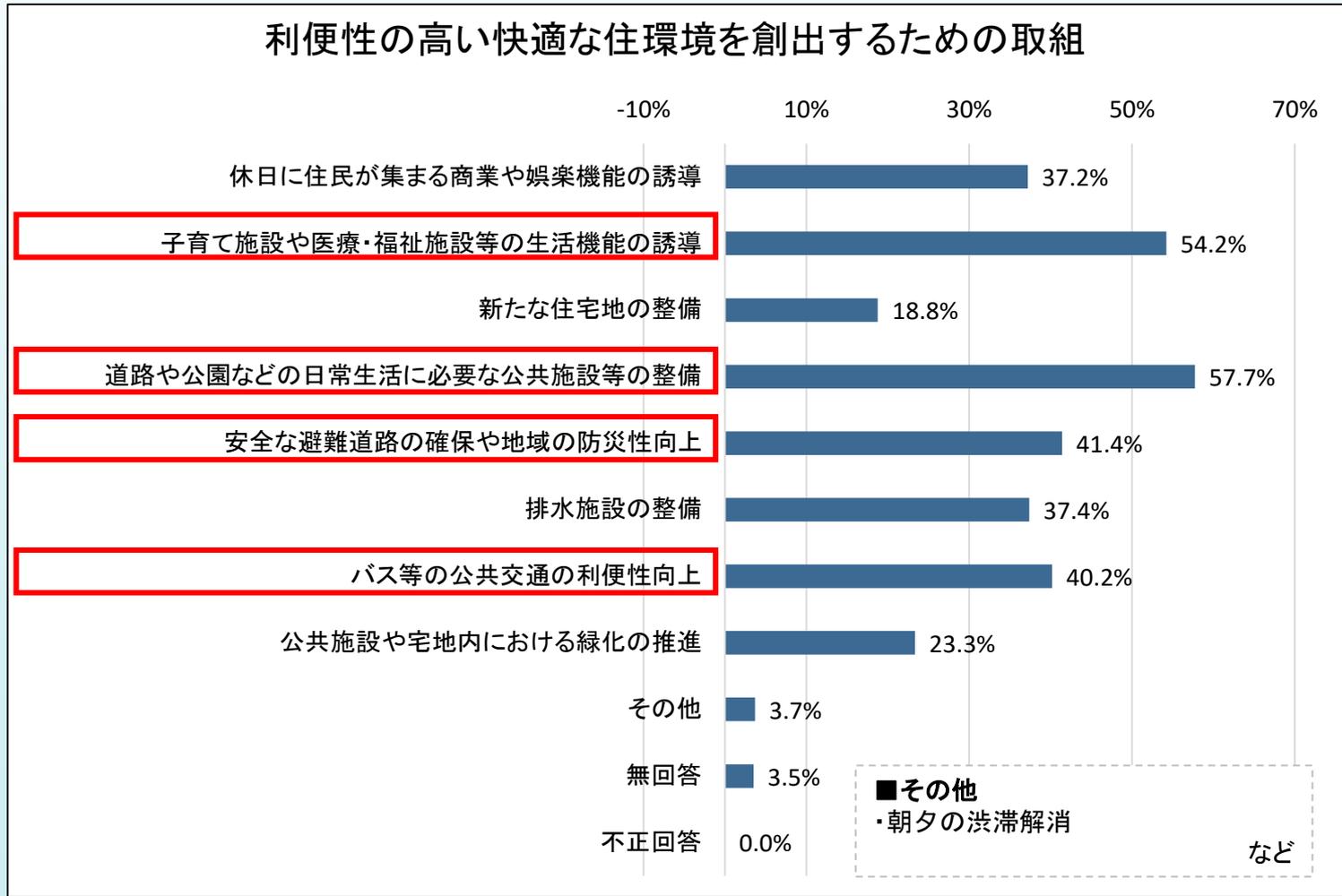
### ○市民交流拠点のイメージ（複数回答可）





# 3. 市民の意向

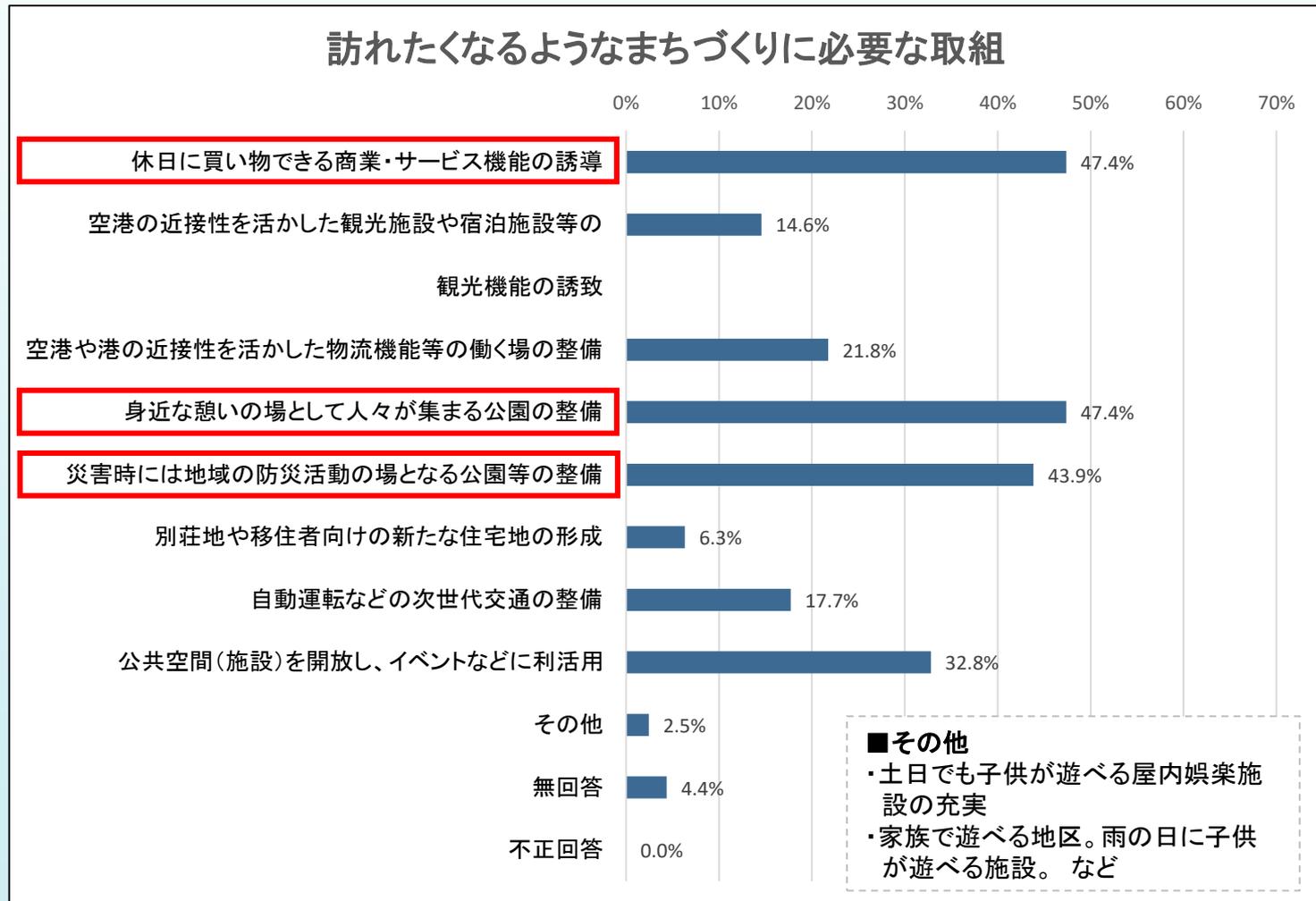
○利便性の高い快適な住環境を創出するため必要だと思う取組みについて（複数回答可）





# 3. 市民の意向

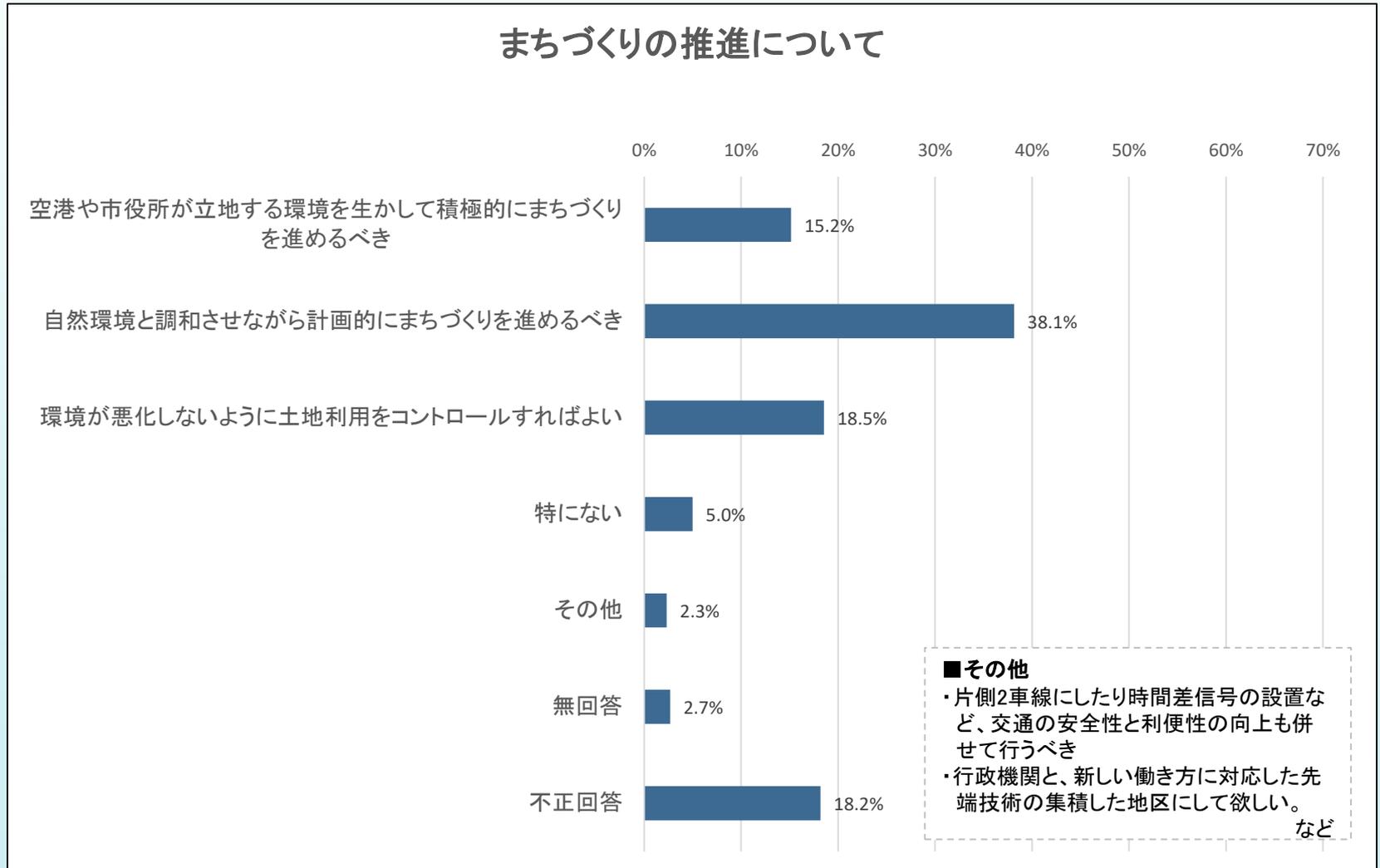
○本地区に訪れたいくなるようなまちづくりに必要と思う取組みについて（複数回答可）





# 3. 市民の意向

## ○本地区のまちづくりの推進について



# 本日のタイムスケジュール

---

## — 第1部 —

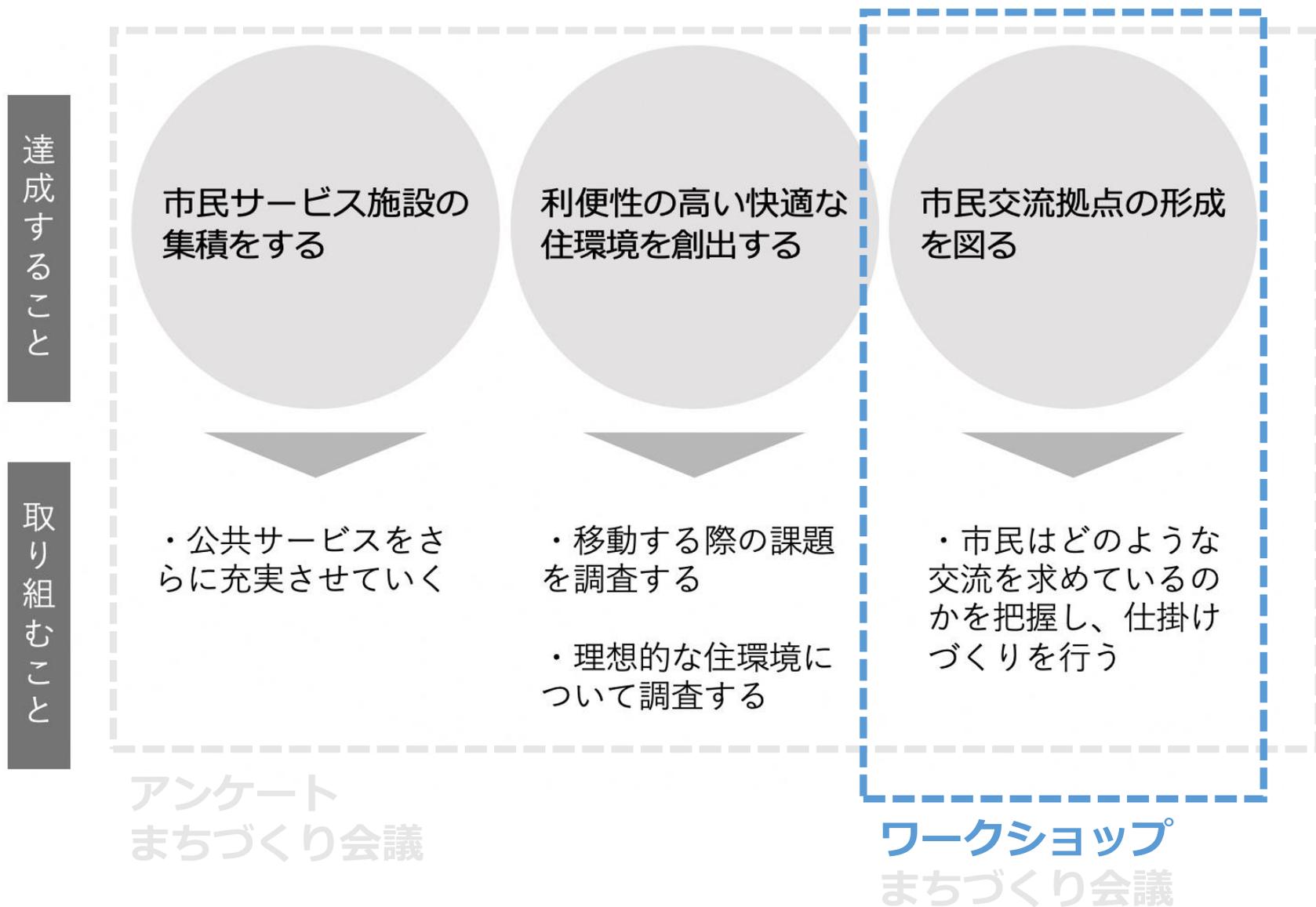
- 1 市役所周辺まちづくり基本構想とは
- 2 アンケート調査の概要と経過共有

## — 第2部 —

- 3 ワークショップ結果の共有
- 4 会場全体での意見交換

### 3) ワークショップ結果の共有

## 次に、ワークショップの結果を共有します



## 1) 市役所周辺まちづくり基本構想とは

# ワークショップは3日間実施しました

### ■ 目的

#### ① 「市役所周辺地区まちづくり基本構想」への市民意向の反映

▶ 市民が求める『交流拠点』の未来像を検討する

#### ② 基本構想の実現に向けた取組みの検討

▶ R5以降にまず取り組んでみるプロジェクトを検討する

### ■ プログラムの日程および参加者数

	実施日時	当日の流れ	参加者
1日目	令和4年11月6日（日） 13:00～16:00 場所：宮古島市役所	テーマ『現状を知る』 ・市民の交流拠点とは？ ・まち歩きの実施	26名
2日目	令和4年11月7日（月） 18:00～21:00 場所：宮古島市役所	テーマ『ありたい市民交流拠点の様子を描く』 ・4つのテーマに分かれて理想の交流シーンを描く	19名
3日目	令和4年11月8日（火） 18:00～20:30 場所：宮古島市役所	テーマ『アクション内容と一歩目を描く』 ・2日目のシーンを叶えるためのアイデアを出す ・実現に向けた一歩目を考える	14名

### 3) ワークショップ結果の共有

## 結果 1 : 色々な課題が出されました

市民が感じている課題

子供を遊ばせる場所がない

文化・行事・歴史を継承できていない

おじいおばあのお知恵を教えてもらえなくなった

若者が繋がる場所がない

仕事を自由にできる場所が不足している

高校卒業したら島を出て戻ってこない人が多い

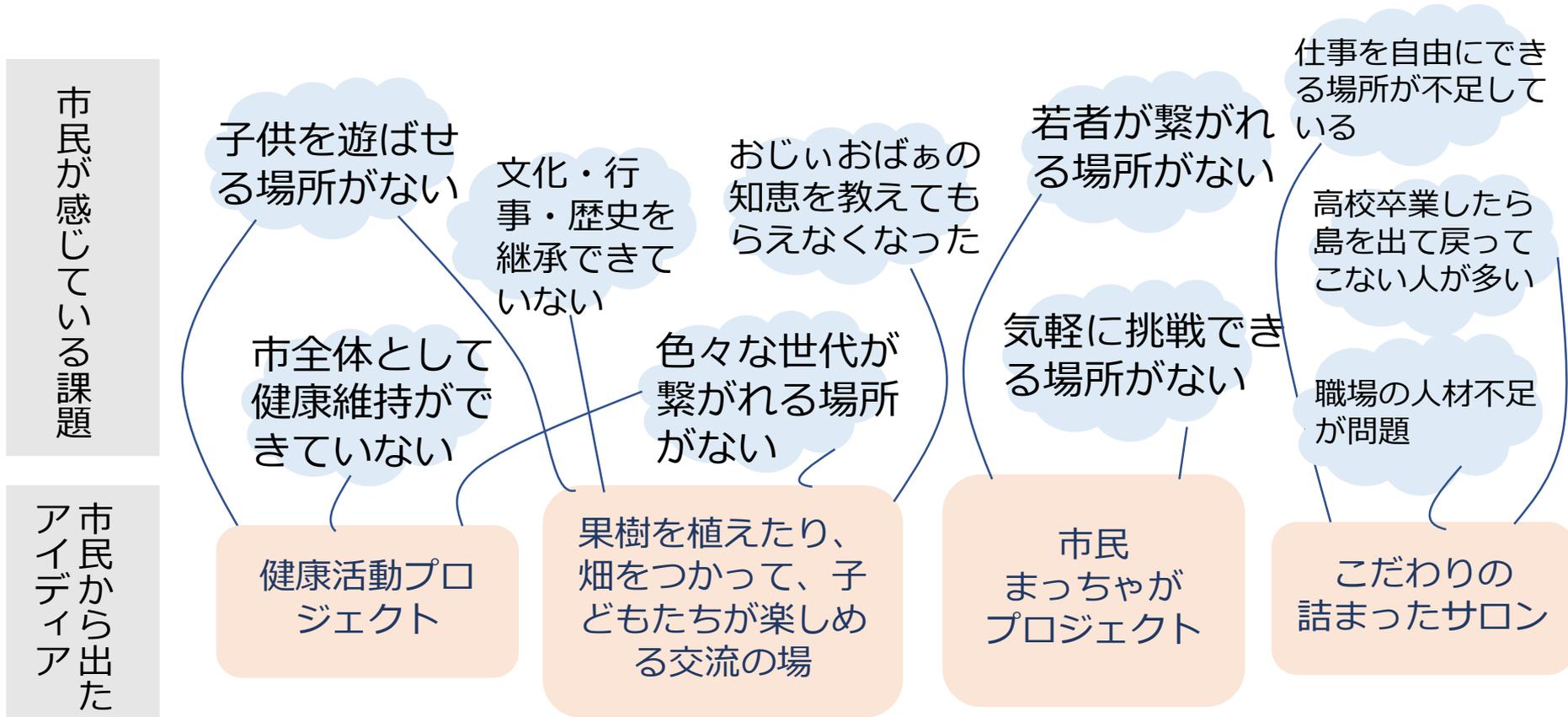
市全体として健康維持ができていない

色々な世代が繋がる場所がない

気軽に挑戦できる場所がない

職場の人材不足が問題

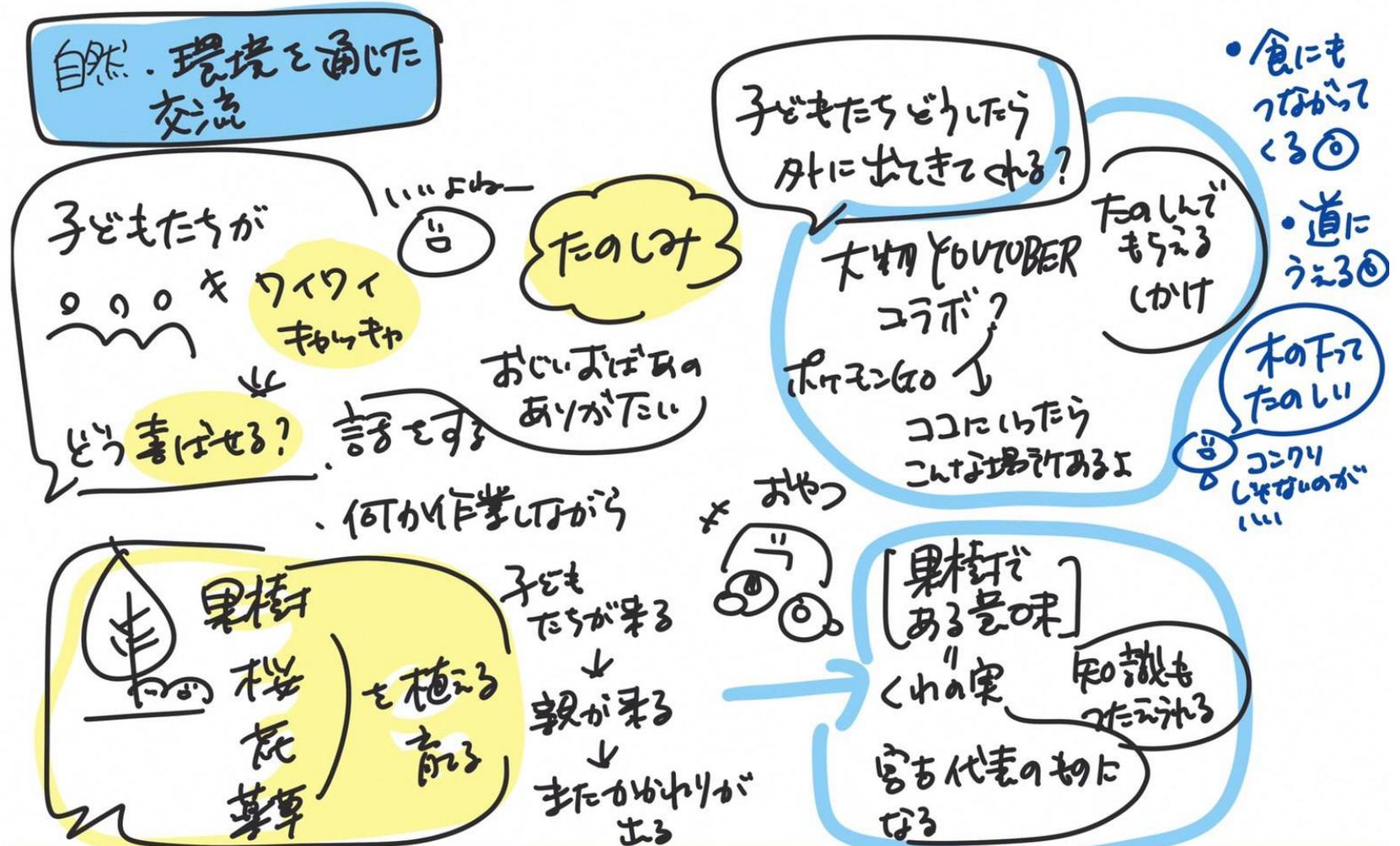
## 結果2：課題から様々なアイデアが導き出されました





### 3) ワークショップ結果の共有

## アイデア「果樹を植えたり、畑をつかって、子どもたちが楽しめる交流の場」



3) ワークショップ結果の共有

アイデア「果樹を植えたり、畑をつかって、子どもたちが楽しめる交流の場」

自然環境を  
通じた  
交流

果樹を植えたり畑をつかって  
子どもたちが楽しめる(交流)の  
場をつくる

市役所に行ったあと  
子どもたちがあそんだり、収穫したり  
できる公園があるイメージ

いずみは...  
公園

子どもたちが  
行きたい!と考える  
ように

子どもも大人も  
一緒に

宮島の  
食文化を守るの  
気持ち、在野のものを  
守る  
在野のものを  
植える

短期

2023.10月 植付  
2024.1月、ジャガイモ  
収穫  
体験 一品持ち寄り  
試食会

とる瞬間の  
たのみ

ハード面  
すぐできる!!

地域に  
はまっている  
食文化

中期

場所を  
つくる → 川入  
グレイ 並木道  
グレイ ベンチ  
おに

長期

大きい  
公園をつくる

行きたい、たべたい、  
居やすい場所  
子どもが楽しめる  
場所をつくる

### 3) ワークショップ結果の共有

## アイデア「果樹を植えたり、畑をつかって、子どもたちが楽しめる交流の場」

### 果樹を植えたり、畑をつかって子どもたちが楽しめる(交流)の場をつくる

まずはある場所を  
活用してできること  
をやってみる！

**短期**

「ジャガイモ掘り」2024年1～2月

宮平さんの畑で、子どもたち20～30名

「ジャガイモ料理1品持ち寄り試食会」

⇒イモホリの1～2週間後

「パリカフェ」公民館にハーブ等を

植えておく、イベントとあわせて母たちが実施

「木の実を食べに行く」2023年

プチイベント〇〇を探せ！

**中期**

実験できる農地や  
空地を探す。  
見つけたら実証実験を  
繰り返す！  
周りを巻き込む！

「収穫体験の場づくり」一緒にハウスづくりから、

農作物の作付け・育て・収穫を実施

⇒在来の野菜にこだわって宮古の文化を守る

取組を実施

「並木道づくり」（通りの許可をとつ

て）植樹、ベンチを置く、桜など季節イ

「果樹園づくり」植樹祭と収穫（食べられるま

で3年くらいかかるので困難か？）

農地は管理の問題

（自治会などができるかもしれない）

大きな公園をつくる  
というハードの  
計画とあわせて実施！  
規模を大きく！

**長期**

公園の中に、果樹を植える。農園をつくる。花

壇をつくる。シンボルツリーを植える。

シートヤ（サトウの精製小屋）をつく

る。

ドッグランをつくる。子ども食堂などの子ども

の居場所をつくる。

定期的にイベントを実施する。

## アイデア「こだわりの詰まったサロン」

### 発想の源

“こだわり”に人は惹きつけられて足を運ぶし、会話のきっかけになることが多い。

どんなサロン？

#### ポイント1：昼はカフェ、夜はオープンバー

昼は仕事や会話をする、夜は仕事帰りに軽くお酒を飲みながら会話をする

#### ポイント2：こだわりが凝縮している

家具、店内に流れるBGM、飲食物、展示品全て。からこだわりが詰まっている（週替わりでテーマが変わるので様々な人が集う動機づけができる）

#### ポイント3：店員が客同士をくっつける

話しかけやすい雰囲気、お客さんと気軽に会話をする。顔が広く、共通の趣味のある客同士を繋げる役割。

誰が来るの？

- 20代～40代
- 刺激を求める人、ただ仕事をする場所を求めている人、おしゃれな空間を求める人、なんとなく寄り道したい人

## アイデア「こだわりの詰まったサロン」

どんなスケジュールで進める？

### チーム形成 フェーズ

- ・プロジェクトチームを立ち上げる
- ・色々な課からジョインしてもらう
- ・多様な属性の市民が関わる必要がある

### 実験デザイン フェーズ

- ・全国の面白い事例を視察する
- ・実験のデザインをする

### 実験 フェーズ

- ・市役所1階を試験的にオープンな場にする
- ・あららがま市の再開+夜飲みを試験する

### 本格 フェーズ

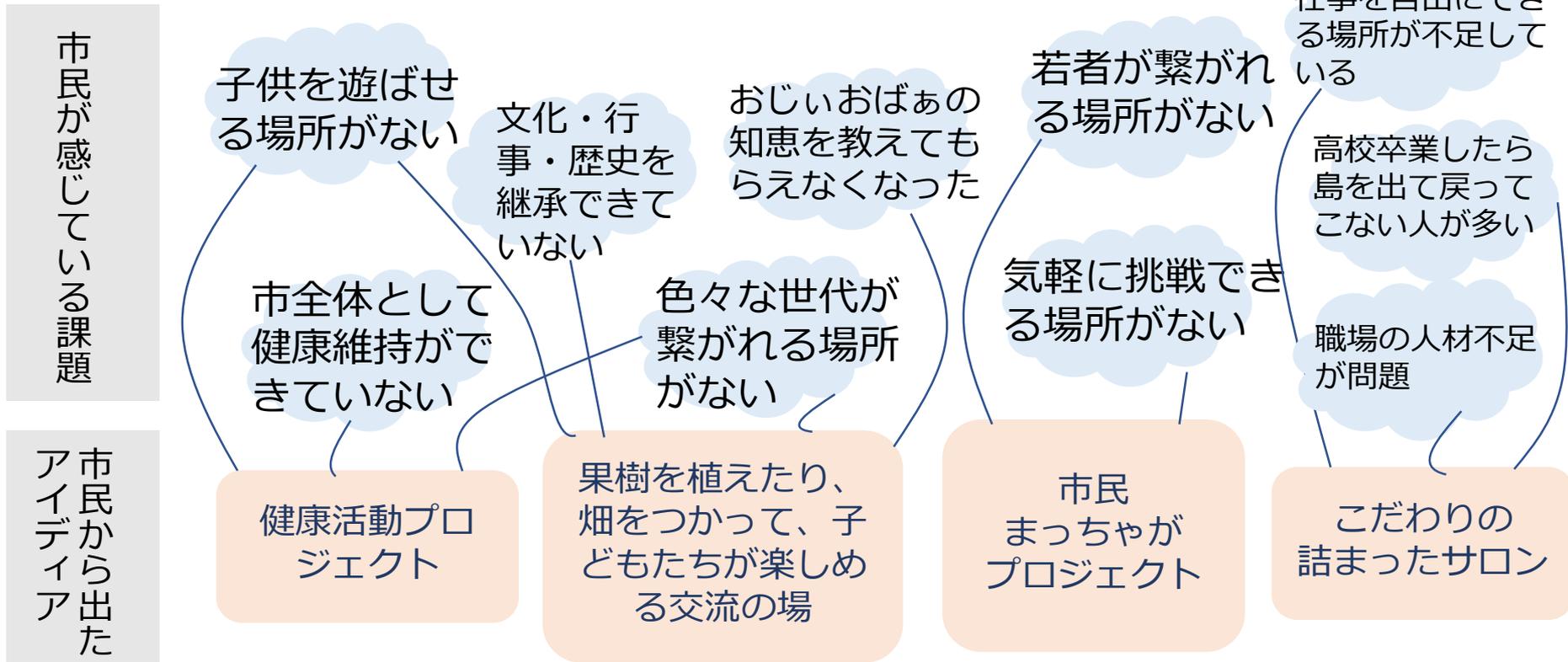
- ・市民投票で場所のデザイン案を決定する
- ・機能、デザインを追求するチームを形成する
- ・本事業の他チームのアイデアも統合できそうなので一緒にやりたい

### 工事/OPEN フェーズ

- ・オープンまでは市役所で実施できたら良い

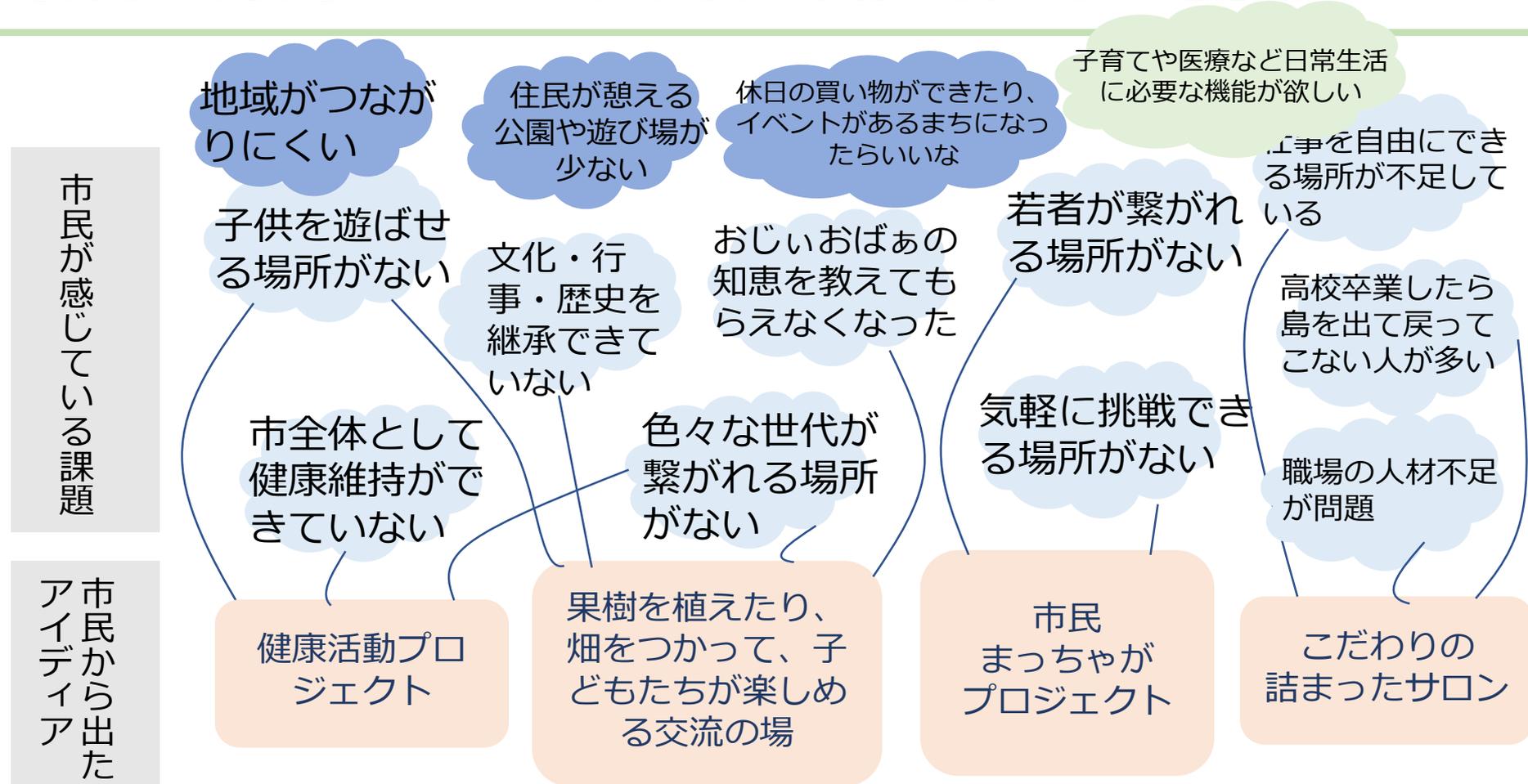
### 3) ワークショップ結果の共有

## 以下、アイデア概要

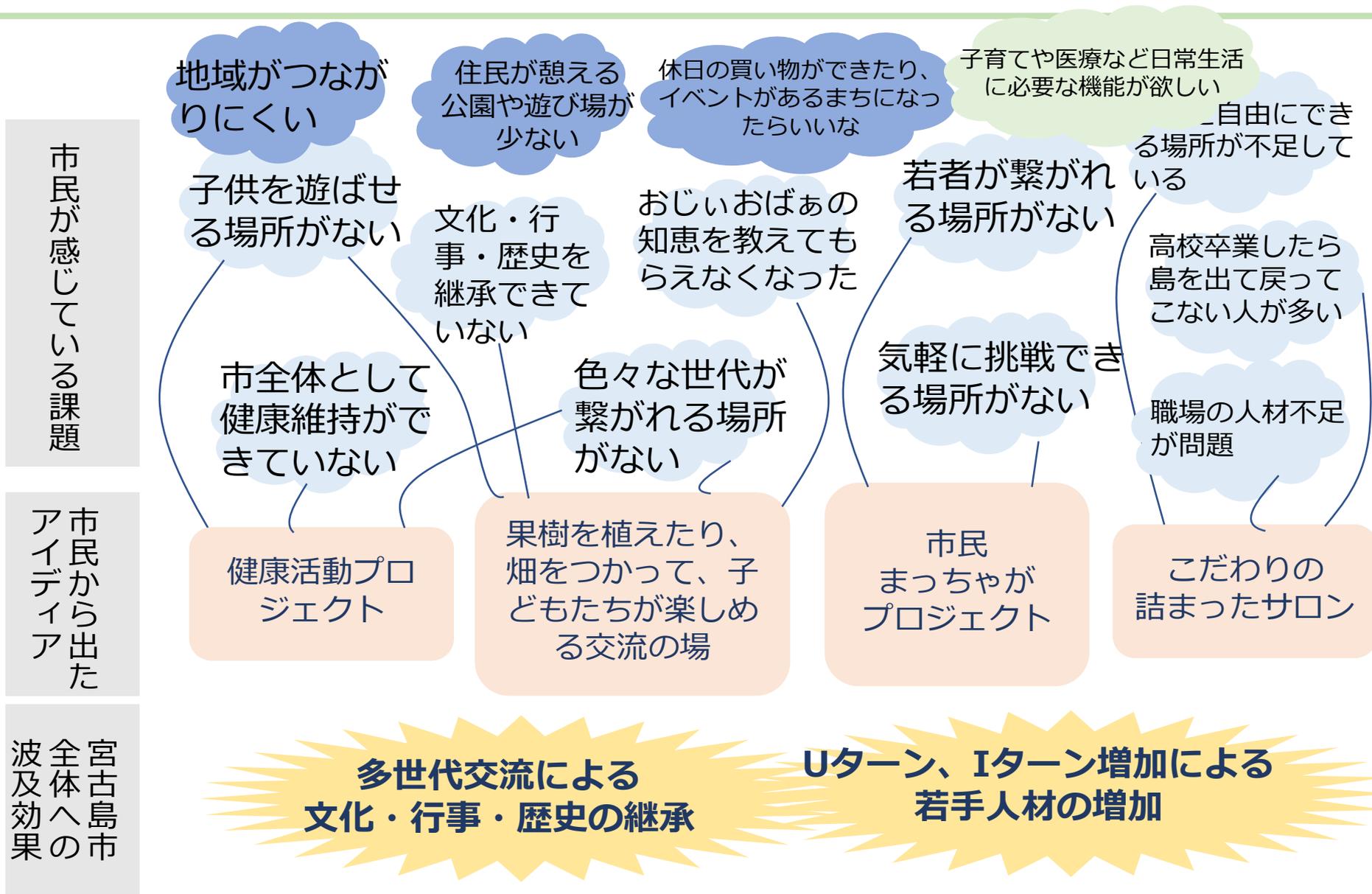


### 3) ワークショップ結果の共有

## 【新しい視点】アンケートから出てきた新たな課題感も



# 結果3 : 宮古島市全体へ次のような波及効果があるのでは？



## 結果4：“集う”から “交流”への仕掛け

---

### ①動機の検討

「人は動機があってその場所に行くので、  
どの動機をくすぐりたいのか十分に検討していく必要がありそう」

### ②“集う”から “交流”への仕掛け

「集まる≠交流ではないので仕掛けづくりが鍵になりそう」

### ③新たな体制づくり

「日常にするためには官民連携の体制づくりが必要となりそう」

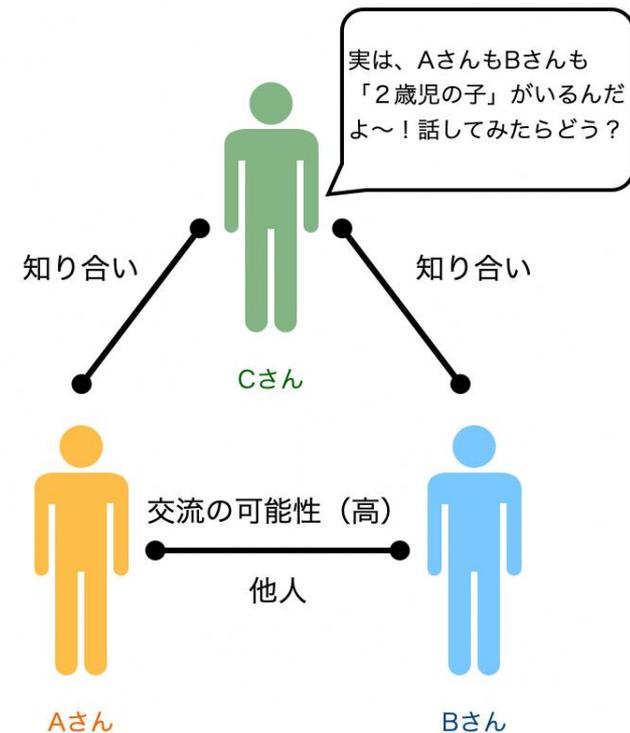
### 3) ワークショップ結果の共有

## “集う” から “交流” への仕掛け

「祭りに人は集まるけど、そこで交流が生まれるわけではないよね？」



「“仲介役”は必要かも。他にも交流を促す仕掛けがありそうだよね。」



### 3) ワークショップ結果の共有

## ③ 新たな体制づくり

「単発イベントでは意味がない。日常的にするためには、振り返って改善していくことが大切」

「地域課題を共有したり、施設や予算が必要となる可能性が高いので、行政と気軽に相談できると嬉しい」



**ワンストップ窓口の開設  
部署を横断したやりとりができる組織づくり**

担当者が部署を移動した後も継続した関係を保ちたい！

### 3) ワークショップ結果の共有

# 今後もぜひみなさんに関わっていただきたいです

